

- ICTを活用した防災情報共有に関するセミナーの開催について
～災害時における迅速な情報共有のために～
 - 平成18年10月6日
-

独立行政法人情報通信研究機構(以下、NICT。理事長:長尾 真)は、平成18年10月27日に、防災情報共有実証実験のデモンストレーションを中心とした防災セミナーを開催します。このセミナーは、地方自治体の防災担当者を対象とするもので、新潟県内で開催される「地域ICT未来フェスタ2006 inにいがた」イベントと連携をとり、財団法人全国地域情報化推進協会と共催で開催するものです。

<背景>

現在、ICTを活用したさまざまな地域情報施策が推進されています。そうした中、自治体の防災行政に最新のICTを導入する取り組みも活発化し、災害予見時、災害発生時、復旧時等、それぞれの段階における「情報収集」「情報伝達」の迅速性や信頼性の確保、さらに災害情報を多くの関係者が共有することの重要性が指摘されています。特に、情報共有化の観点からは、被災地を中心とするネットワークへのアクセス集中(輻輳や遅延等)を克服するためのネットワーク制御技術の確立が求められています。

<セミナーの開催主旨と概要>

本セミナーは、ICTを応用した防災情報共有の意義について、実際に携わる関係者に広く認識して頂くとともに、各自治体における防災活動や情報共有のあり方について検討して頂く機会を提供するものです。そうした中で、新潟県で大規模な豪雨災害が発生したという想定の下、迅速な被害情報の収集、関係機関における効率的な災害情報の共有化等の観点に基づく防災アプリケーションの公開実証実験を行います。

なお本件は、平成18年度の委託研究「異種ネットワーク相互接続環境下における最適情報通信サービス実現のための制御技術の研究開発」(研究受託者:NTTコミュニケーションズ株式会社)の一環として実施するものです。

<参考>

- 実証実験
実証実験(災害情報の共有化)にあたっては、JGN IIと各自治体ネットワーク回線を使用します。さらに、同ネットワーク回線の途絶も想定し、財団法人自治体衛星通信機構が提供する衛星回線を用いた“バックアップ回線”による災害情報の伝達実験も行います。これら実証実験の概念図を別紙に添付します。
 - 参加申し込み
本セミナーへの参加については、次のURLをご参照下さい。<http://www.applic.or.jp/bosai2006/> (全国地域情報化推進協会による案内ページ)
<http://ict2006.jp/event/04/index.php> (ICT未来フェスタのイベント一覧のページ)
 - 協力
新潟県、長岡市、三条市、柏崎市、見附市、財団法人自治体衛星通信機構
-

<問い合わせ先>

独立行政法人情報通信研究機構
総合企画部広報室
栗原則幸、大野由樹子
TEL:042-327-6923、FAX:042-327-7587

<担当部門問い合わせ先>

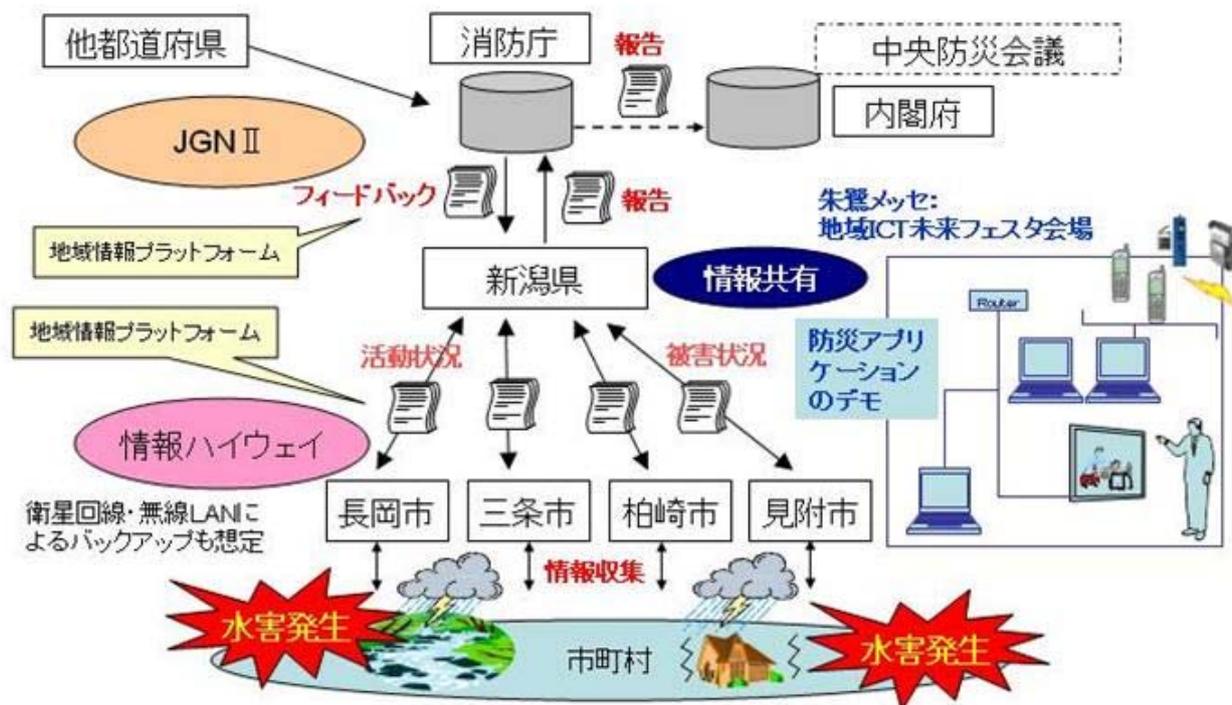
情報通信研究機構 連携研究部門
委託研究グループ
鈴木 雅実
Tel: 042-327-6011、Fax: 042-327-5604

<セミナー参加に関する問い合わせ先>

(財)全国地域情報化推進協会 柴崎 健一郎
Tel:03-5251-0311、Fax: 03-5251-0317

ICTを活用した“防災情報共有実証実験”概念図

地域ICT未来フェスタにおいては、新潟県で大雨により水害が発生したと仮定し、各市町村の被害状況や対策活動状況を防災アプリケーションを用いて共有することにより、災害発生時における情報共有システムの有用性を検証します。



NICT連携研究部門
委託研究グループ